

魚釣り～合わせていくつ？～

対象の児童・生徒

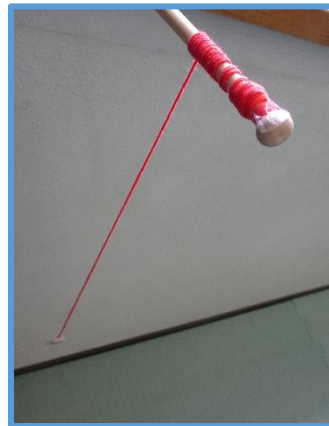
- ・ 1 から 10 までの数唱が可能な児童・生徒
- ・ 数の順序性や「多い・少ない」に関心をもち始めた児童・生徒
- ・ 具体物の操作で数と数唱が合わせられる児童・生徒

ねらい

- ・ 弁別や区別の力を引き出す。
- ・ 具体物を使った、初歩の数操作を促す。
- ・ 操作・抽出した数を、数唱と数字で確認する。

教材の使い方・ゲームの手順

- ・ 釣り竿の糸を自分の都合の良い長さに調整する。
- ・ ゲームの条件・魚釣りの時間と動いて良いエリア（位置）を確認して釣りゲームをする。
- ・ 取った魚を使って、数唱・比較・計数・概括など、状況に合わせて数を抽出する。
- ・ 対象児童・生徒の様子を見ながら少しずつ数字に置き換えて働きかける。



百円均一ショップで編み棒、マグネット、刺繍糸を購入して作りました。棒を回転させて、糸の長さを調整します。

生徒Aさんは、釣った魚を種類ごとに弁別して並べてから、計数で合計数を抽出しました。

ゲーム後の数の抽出の仕方の一例



+



= 13

魚一匹を「1」に見立て数唱したり、特定の魚を得点として「2」や「3」に見立て、計数で導き出したり、児童・生徒の課題に合わせて働きかける。